



赤木 和雄 議員



義務教育の実施について

問 豊かな人間性を育み創造力あふれる子どもを育てる。地域と連携を図り、ふるさとの歴史や伝統文化を尊重し、ふるさとを愛する心を養う学習とは具体的にどのような学習か。

答 三木露風をはじめとする地域の偉人の学習や昔の道具を体験する学習を行っている。また、昨年度から「ふるさと教育推進事業」として、たつの市の地域資源を盛り込んだ「たつの版キヤリアノート」を作成し、ふるさとへの愛着を育むため、地域の方々との交流に取り組んでいる。

生きがいの持てる高齢者福祉の実現について

問 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進が望まれ、生活支援や仕組

みづくりを行い、高齢者が暮らしやすい環境をつくらせるが、高齢者が暮らしやすい環境とは、どのような環境をいうか。

答 高齢者に対する敬愛の心を持ち、充実した人生を送るための生きがいづくり・社会参加仲間づくりなど、高齢者の取組や活動の支援体制が整っている事と考える。

地域の特性を生かした土地利用について

問 優れた自然環境を保全しつつ、地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを目指すところだが、区画整理を無視した民間業者の開発が目立つ現状において、都市計画マスタープランや土地利用計画は生かされていると言えるか。

答 都市計画マスタープラン等に基づいたまちづくりがほぼできていると認識しているが、土地区画整理事業は関係者の合意形成に時間を要するところから、現状は民間活力

にやや依存した状況となっている。

問 川西地区の重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた活動が進むところ、国の所有する家庭裁判所の移転をうながし

龍野城の石垣を見せることが、優れた自然環境を保全しつつ、地域の特性を生かした魅力あるまちづくりと考えるがどうか。

答 当該施設は、昭和40年に建て替えられ、その後、平成27年度に耐震補強工事を実施しており、移転要望を行うのではない。歴史的景観形成地区の風致を損なわないように修理や建て替えの際に配慮願うよう要望を考えている。



柏原 要 議員



災害時の避難所について

問 避難所運営に国際基準の「スフィア基準」を導入すべきではないか。①本市の基準は比較してどうか。②導入するにはどのような課題があるか。

答 ①トイレ設置基準は、20人に1基で男女比1対3に対し、100人に1基で男女比なし、1人当たりの居住スペースは3.5㎡以上に対し2.5㎡以上必要な水・食料及び栄養素に特段の定めは設けていない。②災害用トイレは、現在の73基から100基備蓄を目標に計画。飲料水や段ボールベッド等防災備蓄品の不足は、他の自治体や事業所等との災害協定に基づき支



2011 東日本大震災

援を求める。

子育て支援について

問 子育てきらきらクーポン事業の効果についてどう分析しているか。少子化対策・定住人口の増加・流出人口の抑制に効果があったか。また、第二子のみの世帯にも交付する考えはないか。第三子以降の金額を上げる考えはないか。

答 少子化の要因は、多岐に渡っており、幅広い観点で中長期的に取り組む必要がある。本年度、現状分析とこれまでの事業検証を十分に行い、子育ての負担感や不安感の軽減に向け、子育て支援施策の充実を図る。



森林資源の活用による地域振興について

1. 森林環境譲与税について

問 ①本市に譲与される配分額はいくらか。②有効活用をどう考えているか。③町並み保存で活用してはどうか。④穴栗市等近隣の市町と連携して活用できないか。

答 ①人口・林面積・林業就業者数・総人口により配分され、本年度は約600万円を見込んでおり、徐々に増加する。②間伐等森林整備や里山林維持管理事業の他、所有者等の意向調査を実施し、森林整備を順次実施する。③市内の放棄人工林等を優先整備する予定のため、検討課題とする。④現在協議中で、具体的な内容に至っていない。

2. 森林経営管理制度(森林経営管理法)について



問 ①本システム導入に現状どのような課題があるか。②本市は、どう取り組む予定なのか。

答 ①森林の放置箇所や所有者の林業経営の把握が困難な状況である。②人口林を区分し、所有者の経営意向及び施業履歴等を調査し、杉・檜の花粉対策等を含めた整備計画を立て、制度に沿った整備に努める。